

第Ⅲ期（1年目）

セーフティ プロモーション スクール 再々認証申請書

---

Safety Promotion School 2022.4~2023.3



石巻市立鮎川小学校

---

Ayukawa Elementary School

## 目 次

学校概要	1
セーフティ プロモーション スクールの7つの指標	3
指標1・2	4
指標3	5
指標4	6
指標5	7
指標6	8
指標7	9
資 料	10

# 石巻市立鮎川小学校の概要

## 1 学区の概要

石巻市立鮎川小学校は、北緯 38° 17' 58" ，東経 141° 30' 18" ，海拔 82. 5m，宮城県の東端牡鹿半島のほぼ先端に位置している。また、石巻市中心部から県道石巻鮎川線で約 35 km と交通の便はあまり良くない。気候は温暖で、最高気温の年平均は 16. 3℃であり、寒暖の差もあまりない。当学区は、鮎川浜、新山浜、十八成浜、網地島などからなる。かつては鯨の町として活況を呈したが、児童数も昭和 34 年の 909 人を最高に減少の一途をたどっている。東日本大震災では、在籍児童は全員無事であったが、家の流失・全半壊等により家庭環境が大きく変わってしまった家庭が多く、児童はさらに減少傾向にある。しかし、地域と協働による伝統文化の学習を進めたり、ユネスコスクールに加盟し ESD 活動に取り組んだりするなど、活力と特色ある教育活動を展開している。平成 27 年度より 2 年間、みやぎ防災教育推進協力校の指定を受け、SPS としては平成 29 年 5 月に認証され、令和 2 年に再認証された。



## 2 教職員数と在籍児童数

### 教職員数

職名	人数	内訳
校長	1	
教頭	1	
教諭	3	学級担任 3 名 (内 1 名教務主任兼務)
養護教諭	1	
事務	1	
用務員	1	
SSS	1	
学校司書	1	

### 在籍児童数 (令和 4 年 4 月 1 日現在)

学年	学級数	児童数	合計
1	1	1	3
2		2	
3	1	3	5
4		2	
5	1	1	5
6		4	
合計	3	13	13

## 3 教育目標及び目指す児童像

(1) 教育目標 「夢と志を持ち、心身ともに健康で、実践力のある子供の育成」

(2) 目指す児童像

- 「自ら進んで学習する子」 (確かな学力)
- 「明るく思いやりのある子」 (豊かな人間性)
- 「じょうぶでがんばる子」 (健康・体力)

#### 4 安全教育に係るこれまでの取組

平成 3. 9	県 P T A 安全会表彰（安全対策無事故）
5. 7	県 P T A 交通安全教育表彰
8. 11	少年消防クラブ結成（4 学年）
13. 11	少年消防クラブ表彰
20. 1	防災訓練（放射能漏れ）
21. 1	登下校・自転車乗車時ヘルメット着用開始
23. 3	東日本大震災発生 校舎の壁亀裂多数
23. 5	校庭に仮設住宅 5 8 戸建設
24. 6	地域防災連絡協議会発足 地域との合同避難訓練・引き渡し訓練実施
24. 10	実践的防災教育総合支援事業モデル校に指定
25. 7	河北新報社，防災ワークショップ「おすび塾」を開催
26. 2	東北 E S D プログラムチャレンジ表彰
26. 10	東北地区ユネスコスクール 実践大賞 受賞
27. 10	宮城県教育委員会 みやぎ防災教育推進協力校中間発表会
28. 11	宮城県教育委員会 みやぎ防災教育推進協力校実践公開研究会
29. 5	セーフティ プロモーション スクール 認証
30. 1	校庭の仮設撤去ならびに校庭の引渡し
令和 2. 1	石巻市復興・防災マップコンクール 市長賞 受賞
2. 5	セーフティ プロモーション スクール 再認証
3. 1	石巻市復興・防災マップコンクール 東北大学災害科学国際研究所 特別賞 受賞
4. 1	1. 17 防災未来賞 はばタン賞 受賞
4. 1	第 1 8 回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール 佳作
5. 1	石巻市復興・防災マップコンクール 市長賞 受賞

## セーフティ プロモーション スクールの7つの指標

指標1 (組織)	<p>学校内に、学校安全に関わる活動の中核を担う「学校安全コーディネーター」等を設置し、その「学校安全コーディネーター」等を中心とする学校安全推進のための委員会（以下「学校安全委員会」）が設置されている。</p> <p>なお、学校安全委員会は、「学校安全コーディネーター」等のほか、校長、教頭等の学校管理職を含む教職員の代表、児童生徒の代表、PTA代表、学校を管轄する地域の警察署・消防署の代表、学校のある地域自治会の代表、スクールガードリーダー等の学校ボランティアの代表等から構成されていることが望ましい。</p>
指標2 (方略)	<p>学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、セーフティプロモーションの考え方に基づいた「中期目標・中期計画（3年間程度）」が設定されている。</p>
指標3 (計画)	<p>学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域ごとに具体的に策定されている。</p>
指標4 (実践)	<p>策定された「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている。</p>
指標5 (評価)	<p>学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ分析に基づく明確な根拠をもとに学校安全推進活動に対する評価が行われている。</p>
指標6 (改善)	<p>学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている。</p>
指標7 (共有)	<p>学校安全推進に関わる活動の成果が、当該学校関係者や地域関係者に広報・共有されるとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の発信・共有と新たな情報の収集が継続的に実践されている。</p>

## 指標 1：学校安全委員会

区分	役職
教職員代表	校長，教頭，教務主任，防災主任，安全主任，養護教諭
児童代表	計画委員会委員長
父母教師会代表	父母教師会代表（保体部）
警察関係者	石巻警察署牡鹿駐在所 所長
消防関係者	石巻東消防署牡鹿出張所 所長
地域代表	児童の見守り隊 行政区長
学校関係	石巻市立牡鹿中学校長

## 指標 2：セーフティ プロモーション スクール活動 第Ⅲ期【中期目標・中期計画】

### 第Ⅲ期の重点指導領域… 交通安全（令和4年度～令和6年度）

重点指導期間	分野	中期目標・中期計画
R 4	交通安全 ・被害予防 ・加害予防	1 <u>危険予知能力及び危険回避能力の育成（安全教育）</u> →通学路で起こり得る危険を理解・予測し，安全確保ができるようにする。 →交通ルールや自転車の乗り方に関する知識を習得させる。
R 5		2 <u>点検や確認，職員間の情報共有の徹底（安全管理）</u> →登下校時の安全確認や地区巡視を行う。 →ヒヤリハット事例や学校事故対応に関する研修を行う。
R 6		3 <u>保護者や関係諸機関との連携継続（安全連携）</u> →自転車の安全な利用について，保護者へ啓蒙する。 →交通安全教室や学校区パトロールを実施し，関係諸機関との連携を深める。
H 3 1 R 1	生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	1 <u>危険予知能力及び危険回避能力の育成（安全教育）</u> →インターネットの危険性やメディアコントロールに関する知識を身に付けさせる。 →学校内外の危険性や緊急時対応（不審者・心肺蘇生など）に関する知識を身に付けさせる。 →危険生物（蜂・ヒルなど）の対処法を身に付けさせる。
R 2		2 <u>点検や確認，職員間の情報共有の徹底（安全管理）</u> →アレルギー対応など，児童一人ひとりの情報を確実に共有する。 →不審者情報の共有や人が集まる場所の安全確認・地区巡視を行う。
R 3		3 <u>保護者や関係諸機関との連携継続（安全連携）</u> →牡鹿駐在所の協力のもと，不審者対応訓練を行う。 →保護者に向けて，情報モラルやメディアコントロールに関する啓蒙活動を行う。
H 2 8	災害安全 ・地震津波対策 ・風水雪害対策 ・火災予防	1 <u>危険予知能力及び危険回避能力の育成（安全教育）</u> →防災の時間や防災に関する学習を通して，知識や行動力を養う。 →地震・火災・原子力など様々な避難訓練を行い，防災スキルを向上させる。
H 2 9		2 <u>点検や確認，職員間の情報共有の徹底（安全管理）</u> →防災マニュアルの確認・改善を定期的に行い，職員間で共有を図る。 →地域の危険箇所の確認・点検を定期的に行い，情報を共有する。
H 3 0		3 <u>保護者や関係諸機関との連携継続（安全連携）</u> →引き渡し訓練を継続して実施する。 →地域との合同避難訓練を継続し，関係諸機関との連携を図る。

指標3：セーフティ プロモーション スクール活動【年間計画】（令和4年度）

分野	領域	年間計画
<b>重点指導領域</b> 交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	① 学区内の危険箇所を確認する活動を通して、学区内の道路状況の変化を把握させる。 ② 交通安全教室を実施し、交通ルールや自転車の乗り方に関する知識を身に付けさせる。 ③ DVDや視聴覚教材を活用し、どんな危険が潜んでいるか考えさせ、危険を予測する能力を養う。
	安全管理	④ 定期的に地区巡視を行い、道路状況の変化について情報を共有する。 ⑤ 学校区パトロールや登下校の見守りを行い、危険箇所の確認を行う。
	安全連携	⑥ 登下校の見守りや休日中の地区での過ごし方について、保護者の協力を依頼する。 ⑦ 交通安全教室や学校区パトロールを行う際、牡鹿駐在所の協力を依頼する。
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	⑧ インターネットの危険性に関する情報教育を行う。 ⑨ メディアコントロールを呼び掛け、ゲームやインターネットに関する正しい知識を身に付けさせる。 ⑩ 児童のAED研修を実施する。 ⑪ 子供安全点検を定期的実施する。 ⑫ けがの予防を実践する。 ⑬ 危険生物に関する知識や対処法を身に付けさせる。
	安全管理	⑭ 児童一人ひとりに関する情報を打合せや職員会議を通じて、職員間で情報を共有する。 ⑮ 地区巡視を定期的実施する。 ⑯ 職員を対象とした不審者対応訓練を実施する。
	安全連携	⑰ 牡鹿駐在所の方の協力のもと、不審者対応訓練を実施する。 ⑱ 保護者に向けて、情報モラルやメディアコントロールに関する啓蒙活動を行う。
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防	安全教育	⑲ 防災に関する授業（応急手当・防災マップ作り・防災カードゲームなど）を積極的に実施する。 ⑳ 訓練実施後に反省カードを記入するなど、マンネリ化を防ぐ手立てを講じ、訓練内容の改善を図る。
	安全管理	㉑ 防災マニュアルの読み合わせを長期休業中や職員会議などに実施する。 ㉒ 学区内の危険箇所を定期的に点検し、職員間で情報を共有する。 ㉓ 備蓄倉庫の備蓄状況を定期的に確認する。
	安全連携	㉔ 保護者も訓練に参加できるように、引き渡し訓練を継続して実施する。 ㉕ 避難場所や想定を変えながら、地域との合同避難訓練を継続して行う。

指標 4：セーフティ プロモーション スクール活動【実践】（令和4年度）

分野	領域	活動・実践の内容
<b>重点指導領域</b> 交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	① 月1回地区巡視の日を設定し、学区内の道路状況を確認する。 ② 春と秋の2回交通安全教室を実施し、交通ルールや自転車の乗り方に関する知識を身に付けさせる。 ③ 交通安全教室で視聴覚教材を活用し、どんな危険が潜んでいるか考えさせ、危険を予測する能力を養う。
	安全管理	④ 月1回地区巡視の日を設定し、道路状況の変化について情報を共有する。 ⑤ 4月・6月・10月・2月に学校区パトロールを実施し、登下校の状況と危険箇所の確認を行う。
	安全連携	⑥ 登下校の見守りや休日中の地区での過ごし方について、学習参観や学校だよりを通じて、保護者に呼び掛ける。 ⑦ 春と秋の交通安全教室を牡鹿駐在所の協力を依頼し、実施する。
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	⑧ 情報教育に関する研修会を9月に実施する。 ⑨ 6月・11月・2月にメディアコントロールを実践し、ゲームやインターネットに関する正しい知識を身に付けさせる。 ⑩ AED学習および応急処置学習を9月に実施する。 ⑪ 子供安全点検を5月・7月・9月・11月に実施する。 ⑫ 健康委員会を中心にけがの予防を呼び掛ける。 ⑬ 危険生物に関する研修会を7月に実施する。
	安全管理	⑭ 毎週木曜日の打合せや月1回の職員会議を通じて、児童の情報を職員間で共有する。 ⑮ 月1回地区巡視の日を設定し、実施する。 ⑯ 5月に職員を対象とした不審者対応訓練を実施する。
	安全連携	⑰ 6月に牡鹿駐在所の方に協力を依頼し、不審者対応訓練を実施する。 ⑱ 保護者に向け、情報モラルやメディアコントロールについて、学習参観日や家庭教育学級を通じて啓蒙を図る。
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防	安全教育	⑲ 防災に関する授業（応急手当・防災マップ作り・防災カードゲームなど）を学級活動や総合的な学習の時間に行う。 ⑳ 年8回の訓練実施後に反省カードを記入し、訓練内容の改善を図る。
	安全管理	㉑ 防災マニュアルの読み合わせを長期休業中や職員会議で実施する。 ㉒ 月1回地区巡視の日を設定し、学区内の危険箇所の点検を実施する。 ㉓ 学期1回備蓄倉庫の備蓄状況を点検する。
	安全連携	㉔ 4月・9月に引き渡し訓練を実施する。 ㉕ 5月・3月に地域との合同避難訓練を実施する。

## 指標5：セーフティ プロモーション スクール活動【評価】（令和4年度）

分野	領域	評価
<b>重点指導領域</b> 交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 春と秋の2回交通安全教室を実施し、交通ルールや自転車の乗り方に関する知識を身に付けさせた。</li> <li>○ 交通安全教室で視聴覚教材を活用し、どんな危険が潜んでいるか考えさせ、危険を予測する能力を養った。</li> </ul>
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4月・6月・10月・2月に学校区パトロールを実施し、登下校の状況と危険箇所の確認を行った。</li> <li>○ 道路の復旧・復興工事が終了し、横断歩道や街灯の設置に向けた、学校・県・市の担当者による通学路点検を行った。</li> </ul>
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登下校の見守りや休日中の地区での過ごし方について、学習参観や学校だよりを通じて、保護者に呼び掛けた。</li> <li>○ 春と秋の交通安全教室を牡鹿駐在所に協力を依頼し、実施した。</li> </ul>
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 6月・11月にメディアコントロールを実践した。</li> <li>○ 子供安全点検を5月・7月・9月・11月に実施した。</li> <li>○ 児童集会で健康委員会がけがの予防を呼び掛けた。</li> <li>○ 危険生物に関する掲示物を作成した。</li> </ul>
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎週の打合せや月1回の職員会議を通して、児童の情報を職員間で共有できた。</li> <li>○ 職員を対象とした不審者対応訓練を実施した。</li> <li>○ さすまたやネットランチャー等の防犯器具の整備ができた。</li> <li>○ 体育館の照明器具やバスケットゴールの落下防止工事が行われた。</li> </ul>
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 牡鹿駐在所に協力を依頼し、不審者対応訓練を実施した。</li> <li>○ 7月の家庭教育学級にて、外部講師による「親子情報モラル教室」を実施した。</li> </ul>
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 月1回の防災の時間や防災に関する学習（応急手当・防災マップ作りなど）を行った。</li> </ul>
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防災マニュアルの読み合わせを年度初めに実施した。</li> <li>○ 学区内の危険箇所の点検を実施した。</li> <li>○ 5月に公表された津波浸水想定を基に、避難経路や避難場所を見直して訓練を行った。</li> </ul>
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4月・9月に引き渡し訓練を実施した。</li> <li>○ 5月・3月に地域を想定した避難訓練を実施した。</li> <li>○ 1月の家庭教育学級にて、外部講師による「親子防災グッズ作り教室」を実施した。</li> </ul>

## 指標6：セーフティ プロモーション スクール活動【改善】（令和4年度）

分野	領域	実践を受けての改善点
<b>重点指導領域</b> 交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	○ 交通安全教室の内容を検討し、より実践的なプログラムに改善していく。
	安全管理	○ ヒヤリハット事例や学校事故対応に関する研修を行い、事故の発生を未然に防ぐようにする。 ○ 学校区パトロールを下校指導（徒歩）と兼ねて行う。
	安全連携	○ 自転車安全利用条例に基づいた安全確保の協力を保護者へ呼び掛けるようにする。
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	○ 情報モラルに関する指導を必ず実施する。 ○ メディアコントロールを継続して実践していく。 ○ 不審者対応訓練における不審者の侵入経路を変更し、毎年訓練の想定を変更する。 ○ 子供安全点検を継続して行う。
	安全管理	○ 打合せなどを活用し、安全管理についての情報交換を推進していく。 ○ アレルギーに関する情報や感染症対策については伝講会などを通じ、積極的に共有化を図る。
	安全連携	○ 保護者に向けて、情報モラルやメディアコントロールに関する啓蒙を継続して行う。 ○ 学校医や牡鹿病院との連携を強化し、感染症拡大などの有事の際は密に連絡を取り合う。
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防	安全教育	○ 防災の時間や防災に関連する教科等での指導で、防災に関する知識や判断力を身に付けさせる。
	安全管理	○ 地区巡視を計画的に行う。 ○ 安全や気象に関する法改正等があった場合には、それらに対応して防災マニュアルを見直し、訓練等に生かしていく。 ○ 管理職や防災担当者が不在でも、組織的に対応できるようにする。
	安全連携	○ 地域の関係諸機関と連携した防災訓練の在り方を検討していく。

## 指標7：セーフティ プロモーション スクール活動【共有】（令和4年度）

分野	領域	成果の共有と協働
<b>重点指導領域</b> 交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	○ 再々認証申請書（実践報告書）を作成した。
	安全管理	○ 今年度の取組について、職員会議や打合せで報告・交流した。
	安全連携	○ 交通安全教室の様子を学校だよりで発信した。 ○ 今年度の取組について、学校安全委員会で報告した。
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	○ 再々認証申請書（実践報告書）を作成した。
	安全管理	○ 今年度の取組について、職員会議や打合せで報告・交流した。
	安全連携	○ 家庭教育学級の様子を学校だよりで発信した。 ○ 家庭教育学級の様子が、石巻市教育委員会生涯学習課発行の「家庭教育学級だより」に掲載された。 ○ メディアコントロールの実践について、保健だよりで発信した。 ○ メディアコントロールの実践について、牡鹿地区学校保健委員会で報告した。 ○ 「セーフティプロモーションスクール推進員」養成セミナーにおいて、防災主任が今年度の実践を発表・共有した。 ○ 今年度の取組について、学校安全委員会で報告した。
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防	安全教育	○ 石巻市復興・防災マップコンクールにおいて、最優秀賞（市長賞）を受賞し、表彰された。 ○ 再々認証申請書（実践報告書）を作成した。
	安全管理	○ 今年度の取組について、職員会議や打合せで報告・交流した。
	安全連携	○ 避難訓練の様子を学校だよりで発信した。 ○ 地域想定避難訓練の様子が、石巻市社会福祉協議会発行の「社協だより」に掲載された。 ○ 牡鹿中学校区学校防災教育地域連絡会において、本校の実践を発表・共有した。 ○ 宮城教育大学の学生が本校を訪問。教頭が東日本大震災の体験や防災教育について講話を行った。 ○ 今年度の取組について、学校安全委員会で報告した。

資料【安全教育】



交通安全教室

「コロナ禍」レベル(☆)にトライします!

期日	実施内容	実施状況	実施結果
11/22 (木)	交通安全教室(1) 交通安全教室(1) 交通安全教室(1)	○	交通安全教室(1) 交通安全教室(1) 交通安全教室(1)
11/23 (金)	交通安全教室(2) 交通安全教室(2) 交通安全教室(2)	○	交通安全教室(2) 交通安全教室(2) 交通安全教室(2)
11/24 (土)	交通安全教室(3) 交通安全教室(3) 交通安全教室(3)	○	交通安全教室(3) 交通安全教室(3) 交通安全教室(3)
11/25 (日)	交通安全教室(4) 交通安全教室(4) 交通安全教室(4)	○	交通安全教室(4) 交通安全教室(4) 交通安全教室(4)
11/26 (月)	交通安全教室(5) 交通安全教室(5) 交通安全教室(5)	○	交通安全教室(5) 交通安全教室(5) 交通安全教室(5)
11/27 (火)	交通安全教室(6) 交通安全教室(6) 交通安全教室(6)	○	交通安全教室(6) 交通安全教室(6) 交通安全教室(6)
11/28 (水)	交通安全教室(7) 交通安全教室(7) 交通安全教室(7)	○	交通安全教室(7) 交通安全教室(7) 交通安全教室(7)
11/29 (木)	交通安全教室(8) 交通安全教室(8) 交通安全教室(8)	○	交通安全教室(8) 交通安全教室(8) 交通安全教室(8)
11/30 (金)	交通安全教室(9) 交通安全教室(9) 交通安全教室(9)	○	交通安全教室(9) 交通安全教室(9) 交通安全教室(9)

交通安全教室(10) 交通安全教室(10) 交通安全教室(10)

交通安全教室(11) 交通安全教室(11) 交通安全教室(11)

交通安全教室(12) 交通安全教室(12) 交通安全教室(12)

交通安全教室(13) 交通安全教室(13) 交通安全教室(13)

交通安全教室(14) 交通安全教室(14) 交通安全教室(14)

交通安全教室(15) 交通安全教室(15) 交通安全教室(15)

交通安全教室(16) 交通安全教室(16) 交通安全教室(16)

交通安全教室(17) 交通安全教室(17) 交通安全教室(17)

交通安全教室(18) 交通安全教室(18) 交通安全教室(18)

交通安全教室(19) 交通安全教室(19) 交通安全教室(19)

交通安全教室(20) 交通安全教室(20) 交通安全教室(20)

メディアコントロール



子供安全点検



健康委員会によるけがの予防の呼び掛け



危険生物に関する掲示



復興・防災マップ



地震避難訓練



消防訓練

資料【安全管理】



学校区パトロール



防犯器具



危険箇所点検



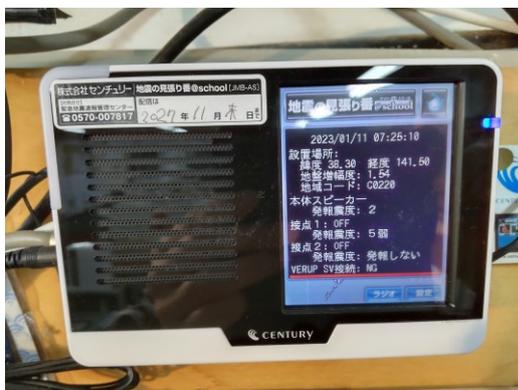
危険箇所点検



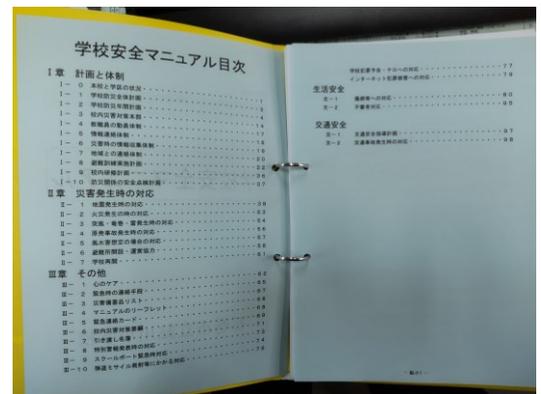
危険箇所点検



下校の見守り



緊急地震速報発報端末



学校安全マニュアル

資料【安全連携】



交通安全教室



防犯教室



親子情報モラル教室



引き渡し訓練



地域想定避難訓練（「社協だより」掲載）



学校安全委員会



牡鹿中学校区学校防災教育地域連絡会



宮城教育大学生への講話